

平成 30 年度以降を見据えた推進体制（推進会議・事務局会議・取組ワーキンググループ）について 素案

【ビジョン推進会議等設置期間：平成 29（2017）年度から平成 32（2020）年度まで】

現在の推進体制【確認】

(1) 推進会議

- ア 役割 ビジョンの進行管理（WG 報告・地域連携促進・意思決定），新しい人材の発掘・育成
- イ 実施回数 4 回
4 月，7 月，11 月，1 月
- ウ 委員構成 47 名（重複される方も含む。）
地域代表（各街区・棟・学区代表）20 名
地域団体等（学区社協・民協・自主防災会・公園愛護協力会・PTA）14 名
事業者 5 名
行政（市役所・区役所・学校）6 名
学識経験者 2 名 + α
- ※ 顧問 3 名
京都美術工芸大学工芸学部 高田光雄教授 立命館大学産業社会学部 乾亨教授
龍谷大学短期大学部 加藤博史教授
- ※ オブザーバー 2 名 伏見区社会福祉協議会事務局，京都市都市計画局住宅室
- エ 事務局機能 都市計画局都市総務課 NT 担当，京都文教大学，(株) 地域計画建築研究所（アルパック）

(2) 運営会議

- ア 実施回数 年 10 回程度（推進会議準備 4 回含む。）
- イ 構成
- 【各ワーキンググループ長や取組の中心を担う住民・事業者】（現状）

防災・防犯WG	珍田氏
子ども若者支援WG	上田氏
まちづくり通信作成担当	神門氏
魅力発信・賑わいWG	中嶋氏
向島学区（向島学区自治連合会会長）	上代氏 *魅力発信・賑わいWG
向島南学区（向島南自治会連合会会長）	野崎氏 *防災WG
伏見区社会福祉協議会	田中氏

- 【事務局】

 - 都市計画局都市総務課 NT 担当（主）
 - 京都文教大学（副）
 - 伏見区役所地域力推進室総務・防災担当，まちづくり推進担当（副）
 - 京都市住宅供給公社（副）
 - =株式会社地域計画建築研究所（アルパック）による会議運営等支援

平成 30 年度以降

(1) 推進会議

- ア 役割 ビジョンの進行管理（WG 報告・地域連携促進・意思決定），新しい人材の発掘・育成
- イ 実施回数 4 回
前年度同様
- ウ 委員構成 47 名（重複される方も含む。）
前年度を引き継ぐ
- エ 事務局機能
30 年度前半 これまでの体制を引き継ぐ（都市総務課 NT 担当，京都文教大学，コンサル等）
→ 30 年度後半 運営会議を核とした運営 + 都市計画局等によるフォローアップ

33 年度以降「まちづくり組織」へとつなげる

【ビジョン推進テーマ 3 住民主体の向島ニュータウン（地域）全体のまちづくり組織の設立より抜粋】
「推進会議」をまずは基盤として，地域における自治力を向上させながら，近い将来において，地域が主体となってまちづくりの取組を進めるための「まちづくり組織」（※）を設立することを目指します。
※「まちづくり組織」は，地域の住民団体，事業者，住宅供給公社により構成されることが想定され，地域主体で，京都市等行政機関と協働関係により，まちづくりの方向性を定めたり，具体的なまちづくり活用に取り組んだりする組織として想定しています。

(2) 運営会議

- ア 実施回数 年 10 回程度
- イ 構成
- 【各ワーキンググループ長や取組の中心を担う住民・事業者】
さらに拡充
- 【事務局】

 - 30 年度前半 これまでの体制を引き継ぐ（都市計画局，京都文教大学，コンサル等）
 - 30 年度後半 住民・事業者による主体的な運営会議の運営
都市総務課 NT 担当・京都文教大学・伏見区役所・京都市住宅供給公社・（コンサル）によるフォローアップ

現在の推進体制【確認】

平成 30 年度以降

(3) 取組ワーキンググループ

- ア 構成 地域住民・団体や事業者、関連行政部署等（新たな人材等を随時追加）
- イ 実施回数 それぞれのグループにより開催回数を決定
- ウ 進め方等 5つのWGを中心に取組を継続検討，実施に向けた調整
 具体的な取組へと発展していくものは活動G等として，様々な団体・組織・グループで取組を実施。
 進捗確認担当は取組項目の進捗状況を確認，実施主体等に働きかけるなどして取組を進めるよう促し，またその協力も行う。

WG名	進捗確認担当	取組項目	WG長や役割	活動G等
魅力発信・賑わい (観光化推進含む)	(主) 京都文教大学 (主) 住宅供給公社 (主) 都市総務課 (副) 区役所企画	情報発信等 1~4, 7~13, 20~23, 67 商業施設等 97~105 教育 5, 6 雇用 111, 112	WG長：杉本教授	○向島及び向島NT 魅力・賑わいのための組織 ○向島まつり実行委員会 ○ラジオ番組等で地域情報化
住環境 (交通含む)	(主) 都市総務課 (副) 住宅供給公社 (副) 京都文教大学	24~40, 65, 66, 106~110	WG長：小林講師	○市営住宅の改善に向けてのアンケート調査 ○住環境パトロール ○バス路線の改善 ほか
子ども若者支援 (子育て世帯等支援含む)	(主) 京都文教大学 (副) 区役所はぐくみ (副) 住宅供給公社 (副) 都市総務課	41~52	WG長：三林教授 司会：増田氏・高木氏 書記：長澤氏(龍谷大学生)	○子ども若者拠点づくり実行委員会 ○子育て世代悩みなんでも相談窓口 ○藤ノ木子どもキッチン ほか
暮らし安心 (中国帰国者等対応及び交流促進含む)	(主) 京都文教大学 (副) 都市総務課 (副) 区役所福祉部 (副) 住宅供給公社	14~19, 53~64	WG長：吉村教授 (馬場教授) (潘教授)	○障害当事者による組織づくり ○先進事例や施設の視察、交流会
防災防犯	(主) 都市総務課 (副) 区役所総務防災 (副) 区役所まち推 (副) 京都文教大学 + α	68~96	防災WG長：珍田氏 書記：佐藤氏(愛隣館) 防犯WG長：雪丸氏	○各学区自主防災会 ○各防犯・交通安全に係る地域役員

- ※ 小中跡地活用(113)に関しては，各WGでも意見をまとめるなどし，別途，横断的に話し合う機会等を設ける。
(第3回話し合う集いにおいても実施済み)
- ※ 向島の将来等を展望した土地利用等の見直しについても，各WGの取組項目を踏まえながら適宜話し合う。
- ※ 大学教員がWG長となっているところは，今年度中に住民代表への交代を目指す。

(4) まちづくり通信

- ア 発行主体 推進会議
- イ 企画・編集主体 運営会議(事務局)と地域住民有志(神門氏)，中文訳：京都文教大学
- ウ 配布方法 自治会長・管理組合理事長等を通した全戸配布(向島・向島南は回覧) 8000部
- エ 印刷費等費用 京都市からの委託費

(3) 取組ワーキンググループ

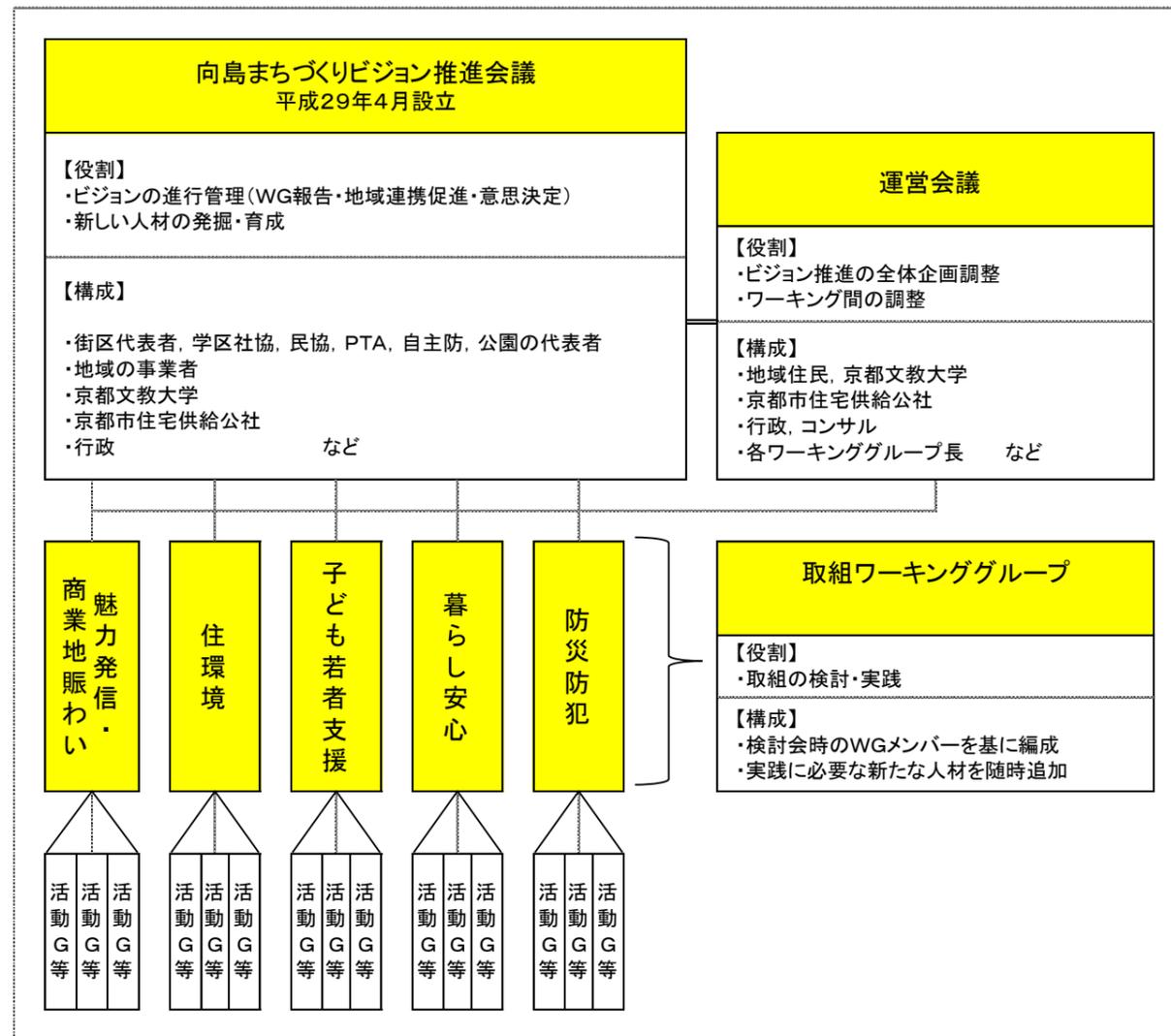
- ア 構成 地域住民・団体や事業者，関連行政部署等（新たな人材等を随時追加）
- イ 実施回数 それぞれのグループにより開催回数を決定
- ウ 進め方等 これまでの進め方を基本としながら，以下の点を重視する。
 ・取組ワーキンググループはビジョンに基づく，または関連する取組の進捗確認や共通課題の解決，横連携などを目的・重視した場とし，活動G等の具体的な活動主体や参加者を増やしていくことに注力する。
 30年度前半 リーダーだけでなく，WG運営体制を地域主体に徐々に移行
 → 30年度後半 都市総務課NT担当・京都文教大学・伏見区役所・京都市住宅供給公社・(コンサル)によるフォローアップ

WG名	進捗確認担当	取組項目	地域主体の体制	活動G等
魅力発信・賑わい (観光化推進含む)	(主) 京都文教大学 (主) 住宅供給公社 (主) 都市総務課 (副) 区役所企画	情報発信等 1~4, 7~13, 20~23, 67 商業施設等 97~105 教育 5, 6 雇用 111, 112	WG長：住民・事業者 書記：	29年度の活動Gに加えて，新たな活動Gの立ち上げ，担い手づくりを目指す
住環境 (交通含む)	(主) 都市総務課 (副) 住宅供給公社 (副) 京都文教大学	24~40, 65, 66, 106~110	WG長：住民・事業者 書記：	
子ども若者支援 (子育て世帯等支援含む)	(主) 京都文教大学 (副) 区役所はぐくみ (副) 住宅供給公社 (副) 都市総務課	41~52	WG長：住民・事業者 書記：	
暮らし安心 (中国帰国者等対応及び交流促進含む)	(主) 京都文教大学 (副) 都市総務課 (副) 区役所福祉部 (副) 住宅供給公社	14~19, 53~64	WG長：住民・事業者 書記：	
防災防犯	(主) 都市総務課 (副) 区役所総務防災 (副) 区役所まち推 (副) 京都文教大学 + α	68~96	防災WG長：珍田氏 書記：佐藤氏(愛隣館) 防犯WG長：雪丸氏 書記：	

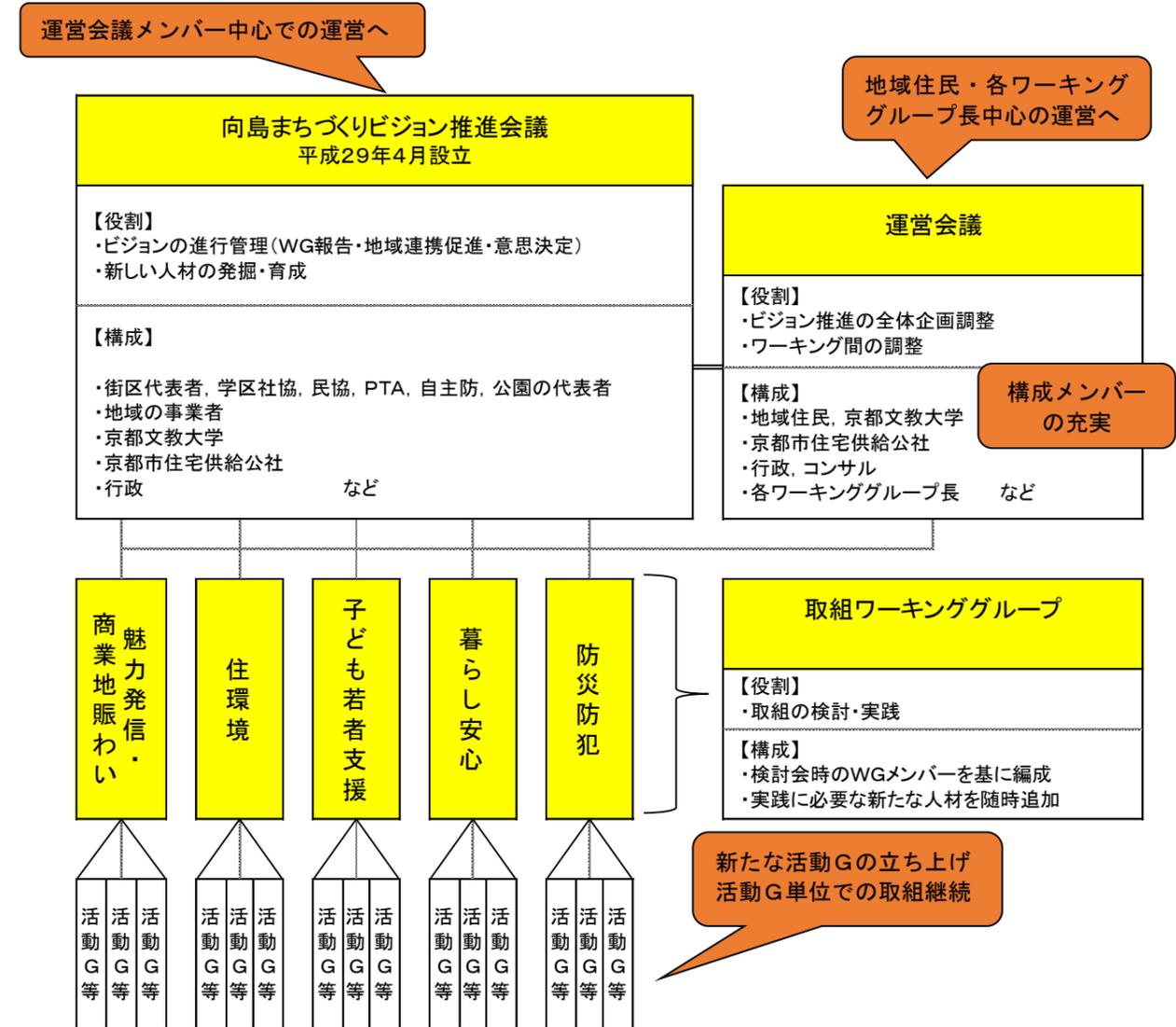
(4) まちづくり通信

- ビジョン取組項目 22「タウン誌の発行」，41「地域放送局・タウン誌やポータルサイトによる情報発信への子どもの参加」による発行体制へと以降する(30年度前半)
- ア 発行主体 推進会議
- イ 企画・編集主体 運営会議と地域住民有志(神門氏ほか活動Gを立ち上げ)，中文訳：京都文教大学
- ウ 配布方法 自治会長・管理組合理事長等を通した全戸配布(向島・向島南は回覧)
30年度後半以降は向島地域外への発信を目指した配布先の拡大を検討
- エ 印刷費等費用 京都市からの委託費(31年度以降は自主財源による発行を目指す)

現在の推進体制関係図【確認】



平成 30 年度以降



参考：WGによる具体的な取組の進捗内容

WG名	取組項目	進行中の取組項目	左記に関連する具体的な取組内容。
魅力発信・賑わい（観光化推進含む）	情報発信等 1～4, 7～13, 20～23, 67 商業施設等 97～105 教育 5, 6 雇用 111, 112	7 まちあるきマップ作成と歴史まちあるき企画の実施 8 向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施 9 農を活かした来訪者の呼び込み・駅前活性化マルシェ 21 ポータルサイト開設・運営 22 タウン誌の発行 23 地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営 97 24号線沿い賑わい施設整備の検討 98 向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用	○陸と空 二面の向島ヘリツアー、まち歩きマップの作成【京都すばる高校・農業事業者ほか】 ○向島及び向島NT魅力・賑わいのための組織づくり」千姫に係る学習会【千姫を偲ぶ会ほか】商業地賑わいにむけたアンケート実施【中嶋農園ほか】 ○駅前コンビニ駐車場で野菜マルシェの実施【NPO法人向島駅前まちづくり協議会】 ○向島まつりのウェブサイト作成、将来的には向島全体のポータルサイトにしていく【向島まつり実行委員会ほか】 ○「まちづくり通信」の住民による取材・製作（将来的なタウン誌につなげる） ○向島の魅力を発信するラジオ番組等で地域情報化（FM845での番組）【京都文教大学学生放送局（文教シェルパ）】 ○向島まつり：向島地域全体で行うまちづくりイベント【向島まつり実行委員会】10/29（日）開催は台風のため中止。
住環境（交通含む）	24～40, 65, 66, 106～110	24 市営住宅の子育て世帯向けのリノベーション 15 市営住宅集会所・空き家の改修と活用 31 市営住宅集会所のリニューアル整備 34 中央公園の再整備と、東公園とも合わせたバリアフリー化等の検討 40 進入路調査・検討等 65 住環境パトロール活動の実施 106 既存路線バスのルート・時刻等の改善のための交通利用実態調査 107 既存路線バスのバリアフリー化要望	○市営住宅の改善に向けてのアンケート調査の着手【住環境WG・向島ニュータウン1街区】 ○中央公園リフレッシュ事業の実施【京都市】 ○住環境パトロール活動の実施（向島ニュータウン1街区～11街区）【住環境WG】 ○バス路線の改善に向けての協議ならびにアンケート調査【住環境WG・向島地域自治会ほか】
子ども若者支援（子育て世帯等支援含む）	41～52	41 地域放送局・タウン誌やポータルサイトによる情報発信への子どもの参加 42 中学生の勉強場所の確保 44 京都文教大学の大学生との交流実施 49 京都文教マイタウン向島（MJ）での子ども食堂、学習支援の取組充実 50 夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援 51 親同士の情報共有、相互理解、支え合う環境づくり 52 子どもを育てる親世代への支援の拡充	○向島の魅力を発信するラジオ番組等（FM845での番組）への中学生の出演【京都文教大学学生放送局（文教シェルパ）】 ○向島藤ノ木学区における子どもキッチン・小中学生対象の学習会（城南児童館・城南保育園）【向島藤ノ木学区民児協・城南児童館・城南保育園・京都文教大学・京都市ユースサービス協会等】 ○高校生年代への居場所づくり・相談活動・アウトリーチ（夜の巡回等）【京都市ユースサービス協会等】 ○MJでのキッズキッチン、小中学生への学習支援の継続実施、充実（キッズキッチン月2回、学生ボランティアの参加等） ○1街区集会所での学習支援活動 ○子育て世代悩みなんでも相談窓口の設置・企画検討 ○子ども若者拠点づくり実行委員会の立ち上げ、向島での子ども・若者に関わる活動主体の連携や情報共有の促進【子ども若者拠点づくり実行委員会、伏見区社協、京都文教大学ほか】
暮らし安心（中国帰国者等対応及び交流促進含む）	14～19, 53～64	18 街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の整備の検討 19 多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の運営主体となる住民組織、NPO等設立の検討 53 街区集会所等による高齢者サポート拠点（介助ステーション、食事スペース、バリアフリー整備などのリニューアルなど）づくり	○障がい当事者による組織づくりとして、「にじいろ準備プロジェクト」の設立【障がい当事者、「あいりん】 ○先進事例や施設の視察、交流会の実施【暮らし安心WG】 ○健幸プラス訪問看護ステーション「まちの保健室」の設置【健幸プラス】
防災防犯	68～96	70 配慮が必要な住民（障害者、高齢者）の情報共有とニーズの把握調査 74 モデル住棟を決めた避難行動シートづくり 75 災害時要配慮者の避難誘導、支援の関係づくり、体制づくり 78 空き家の避難所向け整備 79 災害時の空き家や公園の活用に係る運用マニュアル等の作成など 90 住民による危険箇所の把握、マップづくり、必要に応じた改善要望 91 住民による美化活動の充実 92 危険箇所において街路灯の支障となるような樹木の剪定・伐採等	○「我が家の避難計画」シートづくりとアンケート調査【二ノ丸学区自主防災会ほか】 ○市営住宅空き住戸の緊急避難所活用の検討【向島5学区自主防災会、京都市ほか】 ○向島・向島南学区を含めた災害時の避難場所・避難誘導の検討【防災WG】 ○安心・安全マップ情報の更新、情報共有【防犯WG】
推進体制	推 1～6	1 「向島まちづくりビジョン推進会議（仮称）」の設立 2 ビジョンの進行管理と継続検討 4 取組初動期を支援する助成制度の創設 6 向島ニュータウン秋の祭典や各種イベントの開催	○「向島まちづくりビジョン推進会議」を設立、運営会議や取組WG等を含めた進行管理と継続検討 ○地域団体活動ステップアップサポート事業による助成【京都市】 ○向島地域全体でのお祭「向島まつり」の実施【向島まつり実行委員会】